

2020年4月2日
株式会社ネットラーニング

報道関係者各位

アジア初！ ブロックチェーン型オープンバッジサービス開始 ～学びの可視化で、人材育成・教育・研修が変わる～

eラーニングによる教育・研修・学習デジタルソリューションサービス最大手である、株式会社ネットラーニング（代表取締役社長：岸田 徹、本社：東京都新宿区）は、教育・人材育成の革新的なソリューションとなるデジタル証明書のオープンバッジ（※1）の提供をアジアで初めて自社プラットフォームにて提供開始したことを本日（2020年4月2日）発表いたしました。オープンバッジは学習・研修・資格等の合格・認定・修了証明などをセキュアなデジタルなバッジで提供し、オープンバッジの発行、内容証明や検証、保管用のウォレット、オープンバッジの公開や共有など含めた、オープンバッジを発行する団体と、それを受け取るホルダーのためのトータルサービスです。ブロックチェーン技術を用いた信頼度の高いオープンバッジにて、まったく新しい人材育成・教育ソリューションを提供してまいります。

オープンバッジ発行団体



企業、資格団体、認定団体
大学、教育機関、研修会社

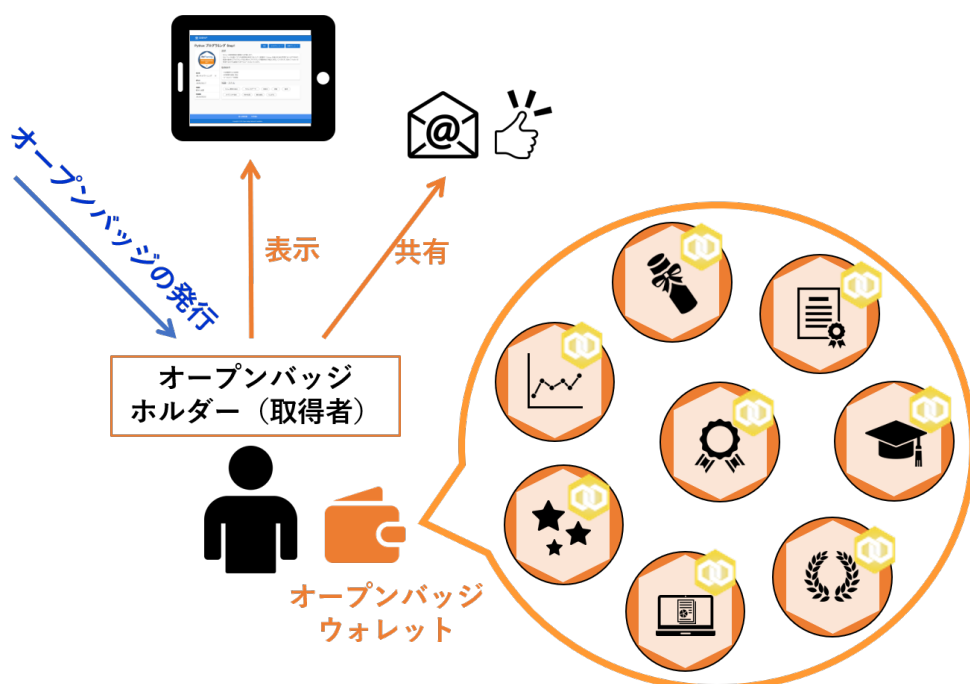


図1：オープンバッジ発行、受領、共有フロー

■ オープンバッジの発行、受領、共有フロー

企業の研修・資格団体・認定団体・検定団体・研修会社などから、オープンバッジがホルダー（取得者）に授与されます。オープンバッジを受領したオープンバッジホルダーは、受領したオープンバッジを自分専用のウォレットへ貯めることができます。オープンバッジの内容はブラウザに表示させて確認したり、オープンバッジをSNSやメール等で公開・共有したりすることもできます。また、公開されたオープンバッジは、ブラウザ上で誰でも、オープンバッジが有効なものであるかどうかを、その内容とともに検証することができます。

■ オープンバッジを通じたメリット

1) オープンバッジ発行団体

● 企業

- 学習時間の増加
スキルを可視化できるオープンバッジの付与により、社員の自律的な学習時間が増加します。
- エンゲージメントの向上
オープンバッジを獲得した社員は、獲得しなかった社員より高いエンゲージメントスコアを出します。(※2)
- 人材配置の向上
オープンバッジによって示された資格やスキルから、プロジェクトにより最適なチームを作ることが可能になります。

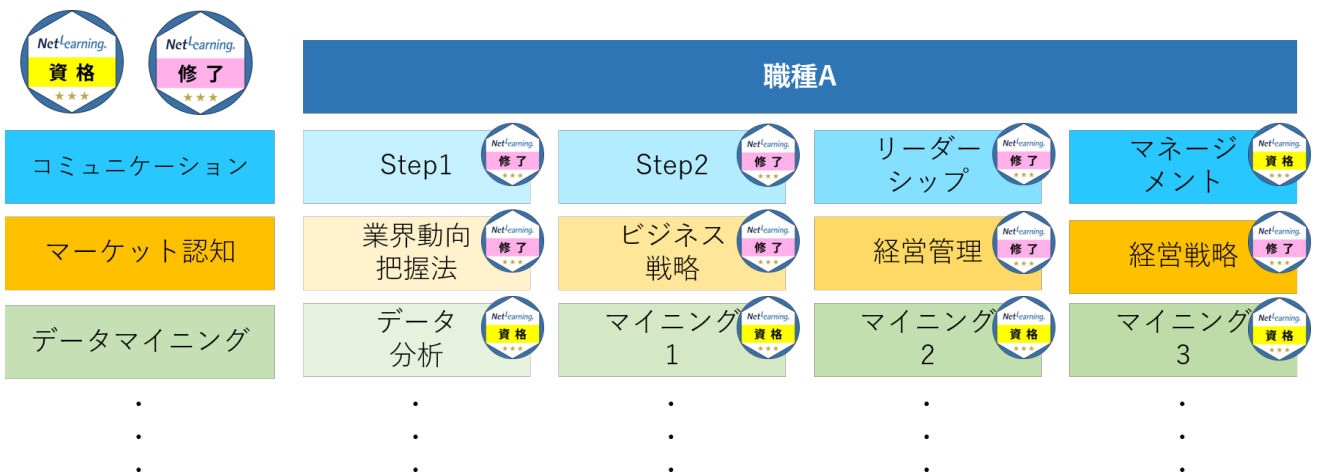


図2：オープンバッジを組み合わせた研修体系

● 資格、認定、検定団体

- 資格取得者の増加
取得した資格は SNS 等にオープンバッジで容易に共有することができるため、スキルの可視化を望む資格取得希望者の増加が見込めます。
- 再受験・受講の促進
オープンバッジに資格の有効期限を設定することで、オープンバッジホルダー（取得者）に再受験・受講や申告等のタイミングを意識づけることができます。
- 事務作業の軽減
資格や認定証の紛失、内容確認といった問い合わせ作業を劇的に軽減します。

● 研修会社

- 修了証書のデジタル化
eラーニング、集合研修等、形態に捕らわれずに発行元を証明できるセキュアな修了証をオープンバッジで発行できます。
- 研修の可視化
研修で得たスキル証明を、受講者が社内や SNS 等で共有可能なオープンバッジで提供することにより、研修会社が提供する研修の可視化を促進します。

- 大学・教育機関
 - 学習意欲の向上
ゼミ等でのオープンバッジ発行により、意欲的に取り組む力を引き出すことも可能にします。
 - 信頼度の高い学位・単位証明の提供
学位・単位証明などに、ブロックチェーン型の改ざんを防ぐ強固なオープンバッジを利用できます。

2) オープンバッジホルダー（取得者）

- 世界中のどの発行者が出したオープンバッジでも、自分専用のウォレットにまとめて保管し、管理できます。
- オープンバッジを SNS やメール等で容易に共有することができます。
- 公開、共有したオープンバッジは、誰でもその取得した内容の証明を行うことができるため、取得者が身に着けた知識やスキルを、高い信頼度のもと掲示することができます。
- オープンバッジを通して、就職や転職時に、どんな知識やスキルをいつ身に着けたのかなど、自分の強みを可視化して見せることができます。
- 自分の目指すキャリアに向けて、どの資格を取得していけばいいのか、目標とする人のオープンバッジをみて、学びのプランを立てることも可能です。

Python プログラミング Step1

検証
JSONダウンロード
画像ダウンロード
BlockCerts証明書ダウンロード

発行者
 (株)ネットラーニング

授与日
 2020/03/17

受領者
 鈴木 太郎

有効期限
 2023/03/16

説明

Python を開発環境の構築から学習します。さらにコースを通して2つの成果物を制作することで、実践的に Python の基本文法を学習することができます。受講対象者はプログラミング初心者からプログラミング経験者まで幅広く対応していますが、初めて Python を学習する方でも基礎から学べるコースとなっています。

取得条件

- ・16の確認テストの送信
- ・8の演習の送信、採点
- ・コースレビューの送信

知識・スキル

Python 開発の基本
Python のデータ
制御文
関数
継承

オブジェクト指向
例外処理
書式変換
ラムダ式

個人情報保護
利用規約

Copyright © 2020 Open Badge Network Foundation

図 3 : オープンバッジの内容証明

【 参照 】

本年3月にオープンバッジの表示を行う Displayer のプラットフォームとして、ネットラーニングが開発し運営している Multiverse®（マルチバース）（※3）が、アジアで初めて IMS Global Learning Consortium（以下、IMS Global）に認定されました。昨年9月に発行元プラットフォーム（Issuer）として認定を受けて以来、ブロックチェーンの利用も含め、これまで順調にオープンバッジのトータルソリューションを提供する準備を行ってまいりました。

- ネットラーニングのオープンバッジトータルサービスについて：

<https://www.netlearning.co.jp/openbadge/>

- IMS Global について（英語）：<https://www.imsglobal.org/>

- Multiverse の IMS 認定国際標準規格一覧：https://site.imsglobal.org/certifications/netlearning-holdings-inc/140091/multiverse#cert_pane_nid_184331

※1 オープンバッジは、IMS Global Learning Consortium（IMS Global）が設定した国際技術標準規格です。詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.imsglobal.org/initiative/advancing-digital-credentials-and-competency-based-learning>

※2 日本 IMS 協会より。詳細はこちらをご覧ください。

<http://imsjapan.org/imsglc20190625.html>

※3 Multiverse は、ネットラーニングが開発・運営・ソリューション提供をしているクラウドベースの学習・研修用プラットフォームです

【株式会社ネットラーニングについて】

ネットラーニングは、のべ 5,951 万人※1 のユーザ、5,072 社（校）※1 へ eラーニングを提供して参りました。ネットラーニングは、eラーニング最大手企業として培った知識と経験を基に、教育・研修・学習のデジタルソリューションサービスを提供しています。当社は 1998 年設立以来、IT の力を使った効果的な学びを追求し、クラウドを利用したプラットフォームでの eラーニングを提供して参りました。現在、ネットラーニングはデジタルトランスフォーメーション（DX）時代における効果的な学びと成果をもたらすトータルソリューションを提供しています。（2020 年 3 月末現在）

社名	株式会社ネットラーニング
代表者	代表取締役社長 岸田 徹
設立	1998 年
本社所在地	東京都新宿区西新宿 7-2-4 新宿喜楓ビル 3F
事業内容	教育・研修・学習デジタルソリューションサービス
URL	https://www.netlearning.co.jp/

【報道関係者ならびに当プレスリリースに関するお問合せ先】

株式会社ネットラーニング 広報 猪股（いのまた）美和

e-mail: pr@netlearning.co.jp

Tel : 03-5860-6111